

## 2023 年度グローバル教育センター担当ウィンタープログラム 募集要項

2023.10

※募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず Go Global 東京大学海外留学・国際交流情報ウェブサイトで確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-winter.html>

### 1. 概要

以下の派遣先大学でのウィンタープログラムに参加する学生を募集する。それぞれの内容や資格・要件等の詳細は、プログラムごとの情報を記載した別紙 PROGRAM INFORMATION を参照すること。また本学の学生が集団で参加するプログラムであるため、基本的には本学学生または日本の他大学の学生とのクラス受講となることを了承できる場合に応募すること。

No	派遣先大学	期間	募集対象者・人数 (概数)	プログラム料金の目安 (予定) ※1	奨学金 (要件を満たす希望者)
①	カリフォルニア大学サンディエゴ校 ※2	2024 年 2 月 19 日 (月)～3 月 1 日(金)	学部・大学院学生 40 名	約 60 万円/人 (宿泊費含む)	8 万円
②	アデレード大学※2	2024 年 2 月 19 日 (月)～3 月 8 日(金)	学部生・大学院学生 40 名	約 41 万円/人 (宿泊費、食費含む)	7 万円
③	オタゴ大学※2	2024 年 2 月 15 日 (木)～3 月 15 日(金)	学部・大学院学生 15 名	約 37 万円/人 (宿泊費、食費含む)	7 万円
④	浙江大学	2024 年 3 月 4 日(月)～3 月 15 日(金)	学部・大学院学生 30 名	約 10 万円/人 (宿泊費含む)	6 万円
⑤	パリ政治学院	2024 年 2 月 19 日 (月)～3 月 15 日(金)	学部・大学院学生 30 名	約 41 万円/人 (宿泊費含まない)	10 万円

※1: 航空賃等、プログラム内容以外の活動に係る個人的費用は自己負担となり、ここには含まれない。最終的な料金は採択学生決定後に確定する。参加人数、宿泊施設に変更があった場合等も、料金に変更になる可能性がある。各プログラム料金詳細は別紙 PROGRAM INFORMATION を参照すること。

※2: 海外経験が比較的少ない学生を主な対象とし、英語学習・文化体験・現地講義体験等を目的とするプログラムであるため、海外経験が豊富な学生や、英語力に自信がある学生向けではない。

### 2. プログラム内容 (詳細は別紙(英語)を参照。内容は先方の都合により今後変更の可能性もある。)

#### ①カリフォルニア大学サンディエゴ校

派遣先大学は、10校あるカリフォルニア大学のひとつで、カリフォルニア州サンディエゴ市ラホヤに位置する州立大学。本プログラムでは、英語能力や長期の留学に不安がある学生に、アカデミックな海外体験の場を提供する。大学院の教授による講義、大学院入学ワークショップ、リーダーシップスキルの開発トレーニング、米国の学生とのネットワーキングの機会、オプションの課外活動等が予定されている。

## ②アデレード大学

派遣先大学は、本学の全学交換留学協定校で、南オーストラリア州アデレードに位置する大学である。1874年に創設され、オーストラリアの大学としては3番目に歴史が古い。「Group of 8」と呼ばれる豪内トップの名門8大学の1校である。本プログラムでは、学生のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングスキルに焦点を当てた英語力の向上を目指すほか、ホームステイではオーストラリアの家庭に滞在し現地の文化を理解し、異文化への意識を深める。アデレード大学の講義に参加する機会もあり、オーストラリアの大学におけるキャンパスライフも体験できる(出席できる講義に限りあり)。

## ③オタゴ大学

派遣先大学は、本学の全学交換留学協定校で、ニュージーランド南島のダニーデン市に所在する同国最古の大学。本プログラムは、英語学習を集中的に行いたい学生向けに実施するプログラムで、ニュージーランドの歴史、文化などに焦点を当てた英語学習の授業もある。ホームステイではニュージーランドの文化を体験し、生活の中で英語を使用する機会となる。またオタゴ大学で開講されている通常の講義聴講も可能(英語授業との関係等により参加できない講義もある)。

## ④浙江大學

派遣先大学は、本学の全学交換留学協定校で、中国で最も歴史の古い総合大学の一つである。中国浙江省・杭州に位置し、上海とも近接している。本プログラムでは、集中的な中国語コース、文化講座、文化ツアー、現地学生との交流活動等が予定されている。宿泊先はキャンパス内の寮に滞在予定。

## ⑤パリ政治学院

派遣先大学は、本学の全学交換留学協定校で、ヨーロッパの有力大学の一つ。政治・国際関係論の研究が盛んであり、毎年日本のパートナー大学に向け本プログラムを実施している。本プログラムは、ヨーロッパ統合のプロセスとヨーロッパ連合について、法律、政治学、社会学、経済学を通じて学ぶ専門的なプログラムである。講義での使用言語は英語で、講義以外に8時間のフランス語学習クラスも希望者に提供される。

## 3. スケジュール

時期	予定
2023年10月中旬	募集要項公開
2023年11月13日(月)正午	Go Global Statement 提出・承認締切【4. 資格・条件(1)のとおり】 ※2018年4月以降入学の学部学生のみ対象
2023年11月14日(火)正午	学内応募締切 ※学部・研究科の担当部署によっては、応募前に必要なプログラム参加に関する学務上の留意点の説明の締切日をこれより早く設定している場合があるので、事前によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。説明を受けた担当者名は「フルネーム」を確認すること。
2023年11月下旬頃	学内選考・結果通知
参加学生確定後～プログラム開始日前	各プログラム事前説明会(オリエンテーション)・必要書類提出・プログラム費用の支払い等

2024年2～3月	各プログラム開催
プログラム終了後2週間以内	渡航後書類の提出（報告書等）

#### 4. 応募資格・条件

以下の要件をすべて満たすこと。

##### 【学内における資格・条件】

- (1) 応募時に本学学部または大学院研究科・教育部の正規課程に在籍し、留学期間を通じて本学学部または大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者（プログラム期間中に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は参加できない）。また、2018年4月以降に入学した学部学生は、国際総合力認定制度 Go Global Gateway に登録後、Go Global Statement を提出し、承認されている者のみを対象とする。 Go Global Statement は一度で承認されるとは限らないため、必ず時間に余裕を持って提出すること。
- (2) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。 なお、本学からの派遣可能人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失うことにつながるため、応募後の辞退は原則として認められない。
- (3) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、プログラム参加時の所属学部・研究科の判断による。本プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で応募すること。  
 ※教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、詳細は教養学部教務課に確認すること。
- (4) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請書の所定の欄に了承を得た日付を入れること。該当する教員等がない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること（12. 応募方法・応募書類(2)）。
- (5) プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科の担当部署で、応募前に、プログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、UTAS 申請書の所定の欄に担当部署名・担当者名（フルネーム）・日付を記入し、納得した上で応募すること（12. 応募方法・応募書類(2)）。記入されていない場合は申請を受理しない。業務の都合等により、急な対応は受け付けられない可能性があるため、プログラム中に所属する予定の学部・研究科の担当部署によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。なお、学部・研究科により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。

##### 【プログラムが求める資格・条件】

プログラムごとの情報を記載した別紙 PROGRAM INFORMATION で確認すること。

##### 【保険への加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入することを、応募にあたり理解すること（加入に要する経費は自己負担となる）。

日本出国（日本の自宅を出る日）から帰国（日本の自宅に帰る日）までをカバーする本保険に加入することを、本公募を通じての当該プログラムへの参加の条件とする。なお、加入に当たっての詳細は、選考終了後、派遣候補学生に追って通知する。

##### 【派遣留学生危機管理サービスへの加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス（株）の 派遣学生危機管理サービス OSSMA(Overseas Student Safety Management Assistance) に必ず加入することを、応募にあたり理解すること（加入に要する経費は自己負担となる）。なお、加入に当たっての詳細は、選考終了後、派遣候補学生に追って通知する。

### 【新型コロナウイルス関係】

派遣先大学や派遣先の国・地域、利用する航空会社、日本の水際対策措置が新型コロナウイルスのワクチン接種やPCR検査陰性証明、新型コロナウイルス陽性となった場合の隔離等、新型コロナウイルスに関するルールを定めている場合は、そのルールに従う必要があることやそれらに係る費用は自らの負担となることを応募にあたり理解すること。

### 【宿泊について】

先方の都合により変更になる場合がある（ホームステイから学生寮へ等）。また、滞在先が本学学生や他大学の学生（日本・諸外国）と同じになる場合もある。原則、滞在先の振り分けは派遣先大学が行い、滞在環境は個人によって異なりうる。

例えばホームステイの場合、ホストファミリーの国籍や家族構成、ファミリーが学生と関わる時間や、食事内容、滞在学生人数・国籍等が異なり、滞在する環境が皆同一ではない。特別に言及のない限り、滞在環境の違いによる料金の違いはなく、同一となる。滞在環境の要望は受け付けられず、様々な異なる環境の滞在先があることを理解した上でプログラムへの申し込みをすること。

### 【その他】

パスポートを所持していない場合はプログラムへの参加が決まり次第、直ぐに取得手続きを行うこと。

そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

### 【奨学金受給における資格・条件】（別添1参照）

本プログラムの奨学金は、個人・法人等からの寄附金や奨学金プログラムによる資金が充てられている。資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合には可能な限り協力すること。

## 5. 単位等

派遣先大学から単位は付与されない。

## 6. 航空券について

空港送迎のあるプログラム（カリフォルニア大学サンディエゴ、アデレード大学、オタゴ大学、浙江大学）に参加が決定した者には、Eメールまたはプログラム事前説明会（オリエンテーション）にて、本部国際教育推進課が指定する条件\*を通知する。通知があるまで航空券は購入せず、通知を受けた後に、条件にあった航空券を購入すること。この通知の前に、個別にフライト条件を問い合わせるEメールや電話には原則回答できない。フライト条件を通知する前にフライトを購入した場合や、指定された条件に沿わない航空券を購入した場合は、プログラム参加資格を取り消す可能性がある。また、それらにより生じた経済的損失について、本学は補償を行わない。

\*現地の発着空港指定、空路での到着限定、発着時間帯の指定などを含む予定。

## 7. プログラム料金・経費・奨学金

### 【プログラム料金・経費】

プログラムごとの情報を記載した別紙 PROGRAM INFORMATION 参照。

### 【プログラム付属のグローバル教育センターを通じた奨学金：別添1参照】

- ・ プログラムの参加者のうち、要件を満たす希望者に奨学金（返済不要）を支給する。
- ・ 要件（前年度の成績評価係数等）の詳細については、別添1を参照すること。
- ・ 希望者はUTAS申請書とは別に、以下の奨学金受給希望調査に回答すること。締切までに回答がなかった者は奨学金を希望しない者とみなす。

回答フォーム：<https://forms.office.com/r/fpekWpFwtJ>

※UTokyo アカウント (\*数字 10 桁\*@utac.u-tokyo.ac.jp) でログインすること。

## 8. 応募締切

11月14日(火) 正午※

※学部・研究科の担当部署によっては、応募前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明の締切日をこれより早く設定している場合があるので、事前によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。担当者名は「フルネーム」を確認する事。

※注意：上記4. 資格・条件(1)となっている国際総合力認定制度 Go Global Statement 提出・承認締切は11月13日(月) 正午である。不備のある Statement は差し戻され、修正後再提出の必要があるため、時間に余裕をもって準備すること。

## 9. 学内選考

- (1) 原則、選考は、書類審査による。
- (2) 合否結果の連絡等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS で電子申請時に記載された電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。
- (3) 原則いずれか 1 プログラムに参加可能となる。ただし、開催日程及び応募状況によっては、2 プログラムへの参加が可能となる場合もあるため、明確に参加の意思があり 全日程参加が可能なることをよく確認のうえ、複数のプログラムへの参加を希望する場合は、その旨を、UTAS からの電子申請時に「11. 特記事項」に記載すること。
- (4) より多くの学生に海外体験の機会を提供するため、過去に同じプログラムへの参加経験がある学生が当該プログラムに再度応募する場合は、学内選考の際に優先順位が低くなる場合があるが、本プログラムに参加することで、将来グローバル教育センターが実施するプログラム(全学交換留学等)への選考や参加には影響はない。
- (5) 選考結果は、11月下旬頃、電子メールで学生本人及び所属学部・研究科の担当部署に通知する。

## 10. 学内選考通過～プログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

- (1) 学内選考を通過した場合でも、手続き不備等により実際にプログラムに参加しない者には奨学金を支給しない。
- (2) 参加手続き及び渡航手続き、査証(ビザ)取得手続き等は、派遣先大学・本部国際教育推進課の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とし、奨学金は支給しない。

【学内での手続き】

- (1) 対面プログラムへの参加が決定した場合、所属学部・研究科の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属学部・研究科毎に異なる。)
- (2) 対面プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者の教育・研究活動等に支障をきたさないよう努めること。
- (3) 参加学生へのオリエンテーション(プログラムごとの情報を記載した別紙 PROGRAM INFORMATION 参照)を開催するため必ず参加すること。
- (4) プログラム参加の辞退は原則として認められない。やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課([studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp))に連絡すること。
- (5) プログラムへの参加が決定した奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、または受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させる。また、留学を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させることがある。
- (6) そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。



### 【留学のための情報、危機管理】

一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること (<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>)。特に、[危機管理ガイドブック](#)は必ず熟読すること。

## 11. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

## 12. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際教育推進課が定める報告書(所定様式)を提出すること。また、参加学生のうち、2018年4月以降に入学した学部学生は、併せて国際総合力認定制度 Go Global Gateway のアクティビティレポートを提出すること(提出するレポートのカテゴリーは「2. 授業・コース」もしくは「4. 国際交流活動」とすること)。
- (2) 参加プログラムの修了証書や成績証明書が本部国際教育推進課を通さず各参加者に送付される場合は、入手次第それらのコピーを本部国際教育推進課へ提出すること。
- (3) 奨学金の受給者については、上記以外にも指定された報告書類等を提出すること。
- (4) プログラムによっては、上記以外にも報告書類の提出が求められる場合があるため、指定された期限内に提出すること。
- (5) 応募時の UTAS からの電子申請に記載の住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課へ連絡すること。プログラム終了後も成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際にも必要となるので、留意すること。
- (6) 参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

## 13. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) プログラム全体、各プログラムの内容、申請や手続き、奨学金に関すること：  
東京大学本部国際教育推進課 学生交流チーム ([studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp))
- (2) [国際総合力認定制度 Go Global Gateway](#) に関すること：  
東京大学本部国際教育推進課 国際総合力認定チーム ([go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp))
- (3) UTAS 電子申請「2. 基本情報」及び「4. 家族等関係者の連絡先」記入・修正方法：  
応募時の所属部局の担当部署
- (4) 単位認定等、本学での学務関係の事項：プログラム参加時の所属学部・研究科の担当部署  
各学部・研究科の担当部署一覧：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>

## 14. 応募方法・応募書類

- (1) 応募締切日時までに学務システム(UTAS)からの電子申請を完了させること。  
◇ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また大きな不備(特に募集要項やUTAS電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備)のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない可能性があるため、余裕を持って応募書類を作成・確認し、応募すること。応募締切後も差し戻しの場合があるので、申請について差し戻しを受けた場合は、差し戻し時に指定される期日までに再提出すること。再提出がその期日に間に合わなければ応募は受理となる。応募締切直前の申請は特に、UTASで配信される差し戻しのメールをよく確認すること。
- (2) **UTAS 電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力すること**(以下は特に注意が必要な項目)。  
◇ 「2. 基本情報」及び「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部・研究科の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。

- ◇ 「3. 申請者本人の連絡先」 E-Mailは、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。
  - ◇ 「6. プログラム中の所属・学年」 指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「18. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
  - ◇ 「14. プログラム参加を希望する理由」には、「8. 希望プログラム」で選択した希望プログラム毎に志望理由を日本語の場合400文字程度、英語の場合600 letters程度で記述すること。記述方法については、本募集要項最終ページ【応募関係書類】（参考資料：応募書類記入方法）を確認すること。第一希望しかない場合も400字程度を厳守のこと。
  - ◇ 「16. 連絡先メールアドレスについて」「17. 募集要項と誓約書に記載の事項について」は、UTAS上に記載された指示に沿って確認・入力すること。
  - ◇ 「19. プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科からの留意事項確認」には、プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科の担当部署から参加に関する留意点の説明を受けた上で、担当部署名・担当者名（フルネーム）・日付を記入すること。記入されていない場合は申請を受け付けない（例：●●学部△△チーム・東大花子・10月21日）。
- (3) 希望者は最大第三希望までのプログラムに応募できる。学内選考後の辞退は他の学生の不利益となるため、明確に参加の意思がある全日程参加が可能なプログラムのみ選択すること。原則として、参加できるプログラムは1人につき1プログラムまでとするが、応募状況や申請内容を総合的に判断し、プログラム日程上可能な場合は複数のプログラムの参加を認める場合がある。複数のプログラムへの参加を希望する場合は、その旨を、UTASからの電子申請時に「11. 特記事項」に記載すること。
- (4) 電子申請時に「20. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

応募書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書（評価基準が分かる部分を含むこと）	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。原本をもとに、「7. 成績評価係数」を入力すること。
・パスポート顔写真ページの写し	保持者のみ	ただしプログラムによっては選考通過後、速やかに提出を求める場合があるため、保持・更新していない場合は、早めに取得・更新しておくことを勧める。
・語学能力証明書	該当者のみ	パリ政治学院に応募する者が該当する。語学能力証明書を提出必須としないプログラムにのみ応募する場合は、電子申請時「9. 語学能力」①に「提出必須でないプログラムのみ応募」と記載すること。
TOEFL iBTまたはIELTS（アカデミック・モジュール）のスコアの写し	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。証明書が複数ある場合は、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
（TOEFL iBTまたはIELTS（アカデミック・モジュール）のスコアを所持していない場合） TOEICのスコアの写し	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。証明書が複数ある場合は、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
英語による学位取得コースに在籍しており、英語能力試験等を受験していない場合の必要書類	該当者のみ	（※1）参照
・誓約書	全員	指定書式（ダウンロード）に記入・署名後、PDFで「20. 添付資料」へアップロードする。いずれの署名も電子署名も可とする。

応募締切日時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。）

**(※1) 英語による学位取得コースに在籍しており、英語能力試験等を受験していない場合**

- ・ 東京大学において英語による学位取得コースに在籍している学生については、TOEFL iBT もしくは IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写しの提出を免除する。代わりに、東京大学の在学証明書(英文)を提出すること。(「20. 添付資料」の「語学能力証明書 (TOEFL iBT・IELTS 以外)」へアップロード。)
- ・ ただし、一般入試または外国学校卒業生特別選考による入学者で、進学選択により学部3年次から教養学部英語コース (PEAK) に進学する者及び進学した者は、パリ政治学院が定めた条件を満たす語学能力証明書を提出しなければならない。

**【電子申請応募先】**

学務システム (UTAS) にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと (「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと)。

◇ 学務システム (UTAS) : <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ 海外派遣プログラム申請の手引き (PDF) : <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400198725.pdf>  
を参照のこと。

**【応募書類指定書式のダウンロード先】**

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-winter.html>

以上